

# 社会福祉士受験資格科目の開設について

渡 戸 一 郎

1965年に明星大学に社会学科が開設されて以来、38年が経過しました。本学科ではこの間、マクロな視野から現代社会の動向を展望すると同時に、身近な地域社会で生起している社会的諸問題の解決を目指して鋭意、教育・研究に取り組んできましたが、社会福祉の世界が要請している新たな現実的課題にこたえるべく、2002年度から「社会福祉士受験資格課程」を新設しました。具体的には、これまでのカリキュラムの上に、社会福祉士の国家試験の受験資格が取得できる科目を増設し、専任教員として垣内国光先生と山井理恵先生のお二人をお迎えしました。それぞれのご専門は、児童福祉と高齢者福祉です。また、この新課程開設を機に、2003年度からは学科名称を「人間社会学科」に変更することになりました。

周知のように、社会学は実証的であることをもって旨としている学問です。したがって、私どもも、あくまでリベラルな立場を貫き、社会学の幅広い専門知識と実証的調査技術を社会福祉の領域に応用することによって、理論的かつ実践的に社会福祉の世界に貢献していきたいと考えています。社会福祉士受験資格の要件とされている知識・技術は言うまでもなく、「地域福祉の時代」に相応しい、その実態に即した知識と実践力を身につけ、福祉コミュニティの形成に役立つ人材を育成するとともに、グローバル化する世界を視野に収めつつ、真に福祉的な「21世紀の福祉社会」を展望しながら、その形

成の推進者となりうる人材を養成することを目指したいと願っています。皆様のご指導・ご鞭撻をお願いする次第です。

また、今年度は、この新課程を大学内外の社会福祉関係者ならびに一般市民の方々にご理解していただく意味で、2002年10月～11月に「21世紀の福祉社会を拓く」と題する開設記念の公開講座および公開シンポジウムを開催しました。この記念シンポジウムに、戦後日本の社会福祉の世界を担い、またリードしてこられた小川政亮先生、三浦文夫先生、青木泰信先生、中西正司先生をお招きし、貴重な講演をいただいたことは、新課程にとって非常に示唆に富む、重要な出発点となりました。先生方には改めて心から感謝の意を表したいと思います。なお、これらの記録は別途報告書として刊行する予定ですが、ここでは参考までにプログラムだけを掲載させていただきますので、参照いただければ幸いです。

\* 「社会福祉士資格課程」開設記念公開講座及び記念講演・シンポジウム

「21世紀の福祉社会を拓く」

【公開講座】

10月5日（土）

「子どもが育つ、大人が育つ、地域で育つ—子育て支援を考える」

垣内国光（本学科教授）

「介護保険と高齢者ケア」

山井理恵（本学科助教授）

10月19日（土）

「グローバル化と福祉国家の危機」

下平好博（本学科教授）

「〈福祉の心〉そして福祉の理論と実践」

渡邊益男（本学科教授）

【記念講演およびシンポジウム】

11月9日（土）

第1部 基調講演

対論「21世紀の福祉教育に何を期待するか」

小川政亮（日本社会福祉学会名誉会員、元日本学術会議会員）

三浦文夫（武蔵野女子大学教授、日本地

域福祉学会会長）

第2部 シンポジウム「21世紀の福祉社会をどう切り拓くか」

司会：垣内国光

シンポジスト：

青木泰信（社会福祉法人アゼリヤ会理事、特別養護老人ホーム「みやま大樹の苑」前施設長）

中西正司（ヒューマンケア協会代表、全国自立生活センター協議会代表）

小川政亮

三浦文夫

コメンテータ：渡邊益男、下平好博

（わたど いちろう、本学科教授・学科主任）